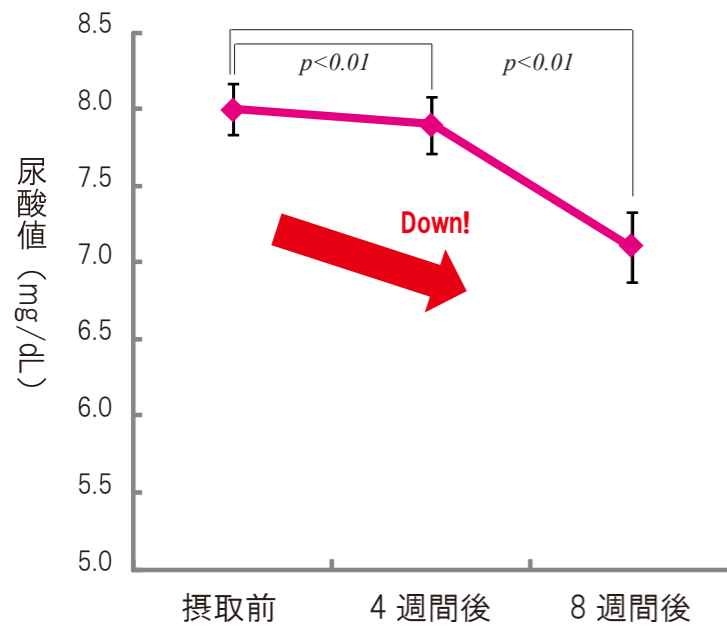


エビデンス：モニター試験

尿酸値の低減効果



血中尿酸濃度高めの成人 24 人に PIPS 200mg を 8 週間摂取すると、服用前平均 8 mg/dL であった平均尿酸濃度が服用 8 週間で 7.1mg/dL まで低下し、PIPS による尿酸濃度低下効果が認められました。高尿酸血症を防ぐことは、痛風対策だけでなく、メタボ対策ともなりえます。尿酸排泄の中心臓器は腎臓であると言えます。厚生労働省では、腎機能が低下している 20 歳以上の日本人は、1,000 万人以上と推計されています。腎機能が低下している人ほど、心疾患発症のリスクが有意に高まります。健全な腎臓によって適切に尿酸排泄されることが血管弛緩能に好影響を与え、その結果、メタボ予防・改善に繋がると考えられます。

※自社データ

天然リン脂質で内から活性化

大豆から生まれた機能性素材・PIPS は、細胞の内側に分布するホスファチジルイノシトールとホスファチジルセリンがバランスよく含まれるリン脂質である。PIPS は乾燥大豆 20kg から、わずか 100g しか得られない希少なリン脂質をあなたの健康と美容にご活用ください。

表示名

ホスファチジルセリン含有リン脂質

品質規格

ホスファチジルセリン含量	28 %以上
ホスファチジルイノシトール含量	18 %以上
乾燥減量	5 %以下
過酸化物価	10 meq/kg 以下
重金属	5 μg/g 以下
ヒ素	1 μg/g 以下
一般生菌数	1,000 cfu/g 以下
大腸菌群	陰性

安全性試験

急性毒性試験： 異常所見なし
 染色体異常試験： 陰性
 AMES 試験： 陰性
 90 日反復投与試験： 異常所見なし
 ヒト臨床試験： 医者の診察において有害事象なし

保存方法

開封前：冷暗所保存
 開封後：遮光密封し湿気を避けて冷暗所に保存

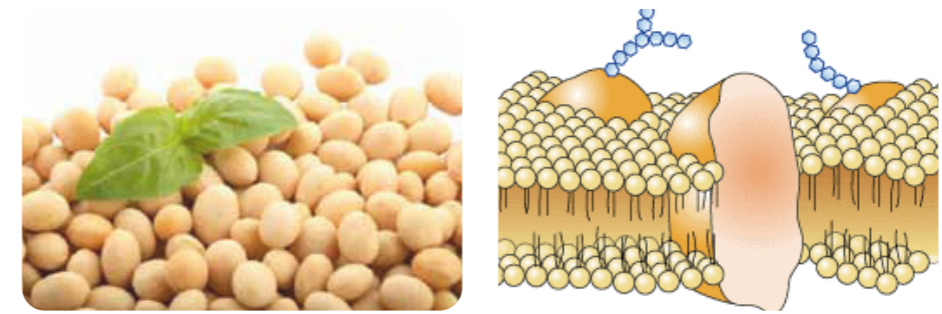
賞味期限

製造日より 2 年（開封前・室温保存）

ピップスナガセ PIPS NAGASE®

Innovation through biotechnology by Nagase

PIPS ナガセはナガセケムテックス独自の酵素と精製技術から生まれたホスファチジルイノシトール (PI) とホスファチジルセリン (PS) を豊富に含んだ機能性リン脂質です。



お問い合わせ先

長瀬産業株式会社

ライフ&ヘルスケア製品事業部 フードマテリアル部 マテリアル開発課

〒103-8355 東京都中央区日本橋小舟町 5-1

TEL. 03-3665-3367 / FAX. 03-3665-3976

研究開発・製造元

ナガセケムテックス株式会社

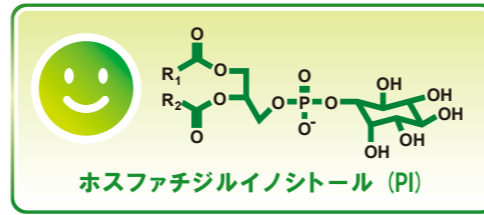
生化学品事業部 酵素開発部

〒620-0853 京都府福知山市長田野町1-52

TEL. 0773-27-3495 / FAX. 0773-27-2040

身体の内側から美しく健やかに

PIPS とは、天然の大豆レシチンを原料にした、ホスファチジルイノシトール (PI) とホスファチジルセリン (PS) を含有するリン脂質です。リン脂質は、細胞膜を構成する主成分であり、生命必須成分であると言えます。ナガセケムテックスでは独自の酵素を用いて PI を成分規格した PS 素材を開発し、機能性研究を行ってきました。リン脂質には、身体の機能を正常化する働きや様々な代謝を活性化する役割を担っています。その能力をギュッと濃縮した PIPS は、ナガセオリジナル素材であり、あなたの健康と美容をサポートすることが期待できます。



PIPS はメタボ対策に期待あり

- 1 脂肪肝と脂肪細胞肥大化の抑制効果
- 2 糖代謝（グリコアルブミン値）の改善
- 3 脂質代謝（悪玉コレステロール）改善
- 4 尿酸値の低減（モニター試験から）

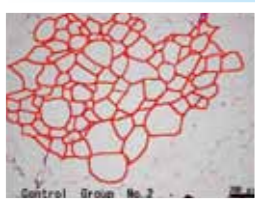
エビデンス：動物試験

脂肪肝モデルラット / Zucker Fattyラット
PIPS 2%配合餌を4週間自由摂食 (n=6, 6週齢♂)

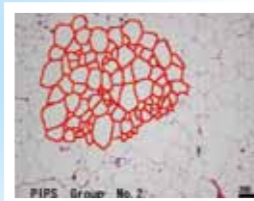
脂肪細胞の肥大化を抑制

内臓脂肪は悪玉に変わる悪玉脂肪を善玉脂肪に変えてアディポネクチン産生促進効果を確認

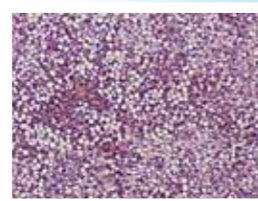
「アディポネクチン上昇剤」特開 2008-266311



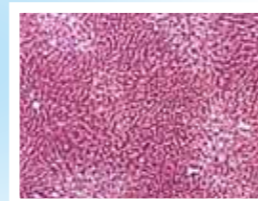
高脂肪食



高脂肪食+PIPS



高脂肪食



高脂肪食+PIPS

※自社データ

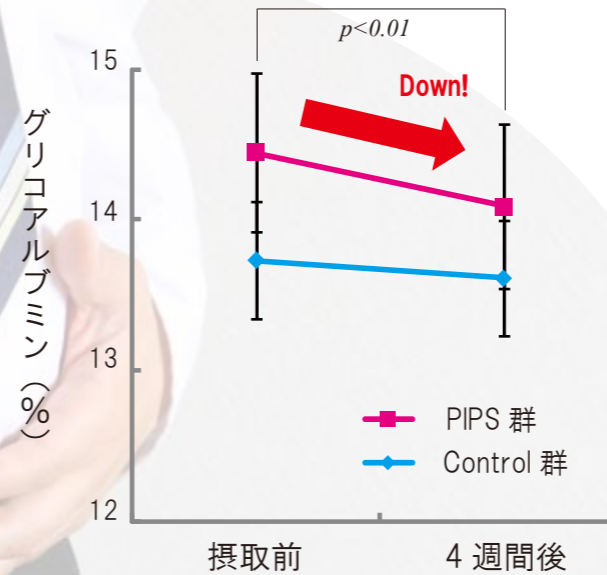
肝臓の脂肪蓄積を抑制

肝臓重量の異常な増大を抑制し肝臓内での中性脂肪の蓄積を抑制および脂質代謝の改善効果を確認

エビデンス：ヒト臨床試験 その1

方法 4週間継続摂取による無作為単盲比較試験
試験食品 PIPS ナガセ 2錠 (200mg) 原則として、朝食後1日1回
試験対象 被験者として医師が適格と判断した LDL コレステロール値が 140mg/dl 以上の成人男女
プラセボ 20名、被験食品群 20名 (平均年齢 56歳)
試験項目 アンケート調査、理学検査、血液検査、尿検査

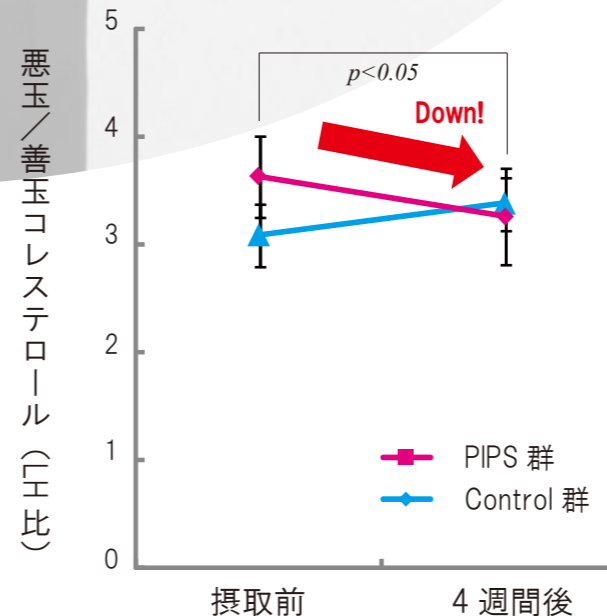
グリコアルブミン値低下



糖化タンパク質の1つであるグリコアルブミンは2週間から4週間の比較的短期間の血糖コントロールの指標として用いられています。その値は血糖値と相関することから、日本赤十字社が行う献血の糖尿病関連検査の項目として採用されています。ヒト臨床試験による PIPS のグリコアルブミンへの効果を検討した結果、PIPS 摂取によってグリコアルブミン値は有意に改善していることが分かり、糖代謝をサポートします。

エビデンス：ヒト臨床試験 その2

脂質代謝改善



メタボリック症候群は、心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化性の疾患になりやすいといわれています。その中の一つである脂質異常症は、中性脂肪、悪玉コレステロール (LDL)、そして善玉コレステロール (HDL) の値で診断します。LDL は、肝臓でできたコレステロールを体の隅々へと運ぶ役割があり、増えすぎると血管壁に付着し、動脈硬化の原因となります。一方、HDL は LDL を取り除き、肝臓へと運ぶ役割があり、動脈硬化の予防につながると考えられています。男性群において、PIPS 摂取によって LDL/HDL 値を有意に改善していることが分かり、動脈硬化リスクを低減しています。